

第77期
(2025年3月期)
決算説明資料

2025年5月15日

トーイン株式会社
証券コード：7923



第77期 決算概要

注意

- ① 本資料に記載の売上高の金額には、消費税等は含まれておりません。
- ② 本資料に記載の金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- ③ 本資料に記載の前年比、構成比等の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

総 括

当連結会計年度の業績については、包装資材事業において、引き続き当社固有の加飾技術や環境対応資材を中心に当社製品の優位性のアピールを軸とする企画提案型の営業活動を継続的に実施するとともに、採算性を一層重視した受注活動に注力してまいりました。

その結果、国内の売上高は、食品、化粧品分野がそれぞれ底堅く推移し、増収となりました。海外においても、ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）、タイ現地法人（TOIN（THAILAND）CO., LTD.）とも増収となり、売上高は12,956百万円（前期比6.6%増）となりました。利益面については、諸資材・エネルギー価格、物流コストや人件費のアップに対して、採算性を重視した営業活動や工場運営の効率化等による製造コストの低減を推進した結果、前期比で増益となりました。

精密塗工事業においては、先端半導体の市場牽引により関連する精密塗工製品の需要が増加、売上高は1,140百万円（前期比38.2%増）となりました。利益面については、受注増及びそれにとまなう生産体制の強化等により、前期比で増益となりました。

その他事業においては、きめ細かな営業活動を進め化粧品関連の販促品の受注が伸びたものの、アッセンブル事業が伸び悩み、売上高は485百万円（前期比8.8%減）となりました。利益面については、売上の伸び悩みを受け、前期比で減益となりました。

以上の結果、グループ全体の売上高は14,582百万円（前期比8.0%増）、営業利益891百万円（前期比116.7%増）、経常利益929百万円（前期比60.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益597百万円（前期比22.5%増）となりました。

<当年度のトピックス>

【営業面・技術面】

- 環境対応と表現力の両立をテーマにした『スペシャルボックス第8弾』によるデザインサンプル提供開始（2024年8月）
- TOKYO PACK2024(2024東京国際包装展)に富嶽三十六景の神奈川冲浪裏を表現したパッケージ及びポスターを共同制作、展示（2024年10月）
- 精密塗工事業に関し高機能フィルム展2024に出展（2024年10月）
- 世界最大規模の化粧品見本市「コスモプロフ/コスモパック アジア」に出展（2024年11月）

スペシャルボックス第8弾

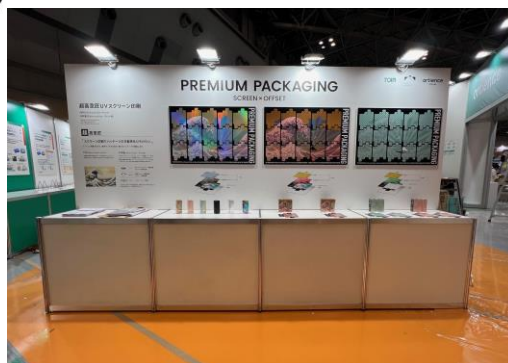


TOKYO PACK2024



高機能フィルム展2024

コスモプロフ/コスモパックアジア



第77期 連結損益計算書

(単位：百万円)

	第76期		第77期		対前期比	備 考
売 上 高	13,507	100.0	14,582	100.0	1,074	
売 上 原 価	11,087	82.1	11,621	79.7	534	
売 上 総 利 益	2,420	17.9	2,960	20.3	540	
販売費及び一般管理費	2,008	14.9	2,068	14.2	59	
営 業 利 益	411	3.0	891	6.1	480	
営 業 外 収 益	214	1.6	151	1.0	△62	
営 業 外 費 用	45	0.3	113	0.8	68	
経 常 利 益	580	4.3	929	6.4	349	
特 別 利 益	123	0.9	1	0.0	△122	
特 別 損 失	73	0.5	122	0.8	49	
税金等調整前当期純利益	630	4.7	808	5.5	177	
法 人 税 等	143	1.1	207	1.4	64	
当 期 純 利 益	487	3.6	600	4.1	113	
非支配株主に帰属する 当 期 純 利 益	△0	△0.0	3	0.0	3	
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	487	3.6	597	4.1	109	

第77期 連結貸借対照表

(単位：百万円) **TOIN**

	第76期		第77期		対前期比	備 考	
		%		%			
流動資産	8,023	41.5	8,733	42.7	710	現金及び預金 受取手形 電子記録債権	+873 △99 △93
固定資産	11,313	58.5	11,728	57.3	415		
有形固定資産	8,396	43.5	8,173	40.0	△222	建物及び構築物 機械装置及び運搬具	△121 △128
無形固定資産	86	0.4	30	0.1	△55		
投資その他の資産	2,830	14.6	3,525	17.2	694	投資有価証券	+691
<<資産合計>>	19,336	100.0	20,462	100.0	1,126		
流動負債	5,645	29.2	5,726	28.0	81	支払手形及び買掛金 並びに電子記録債務 借入金	+108 △95
固定負債	3,680	19.0	3,755	18.3	75	長期借入金 繰延税金負債	△238 +229
<<負債合計>>	9,325	48.2	9,482	46.3	156		
株主資本	8,439	43.6	8,949	43.7	509		
資本金	2,244	11.6	2,244	11.0	0		
資本剰余金	2,901	15.0	2,901	14.2	0		
利益剰余金	4,005	20.7	4,514	22.1	509		
自己株式	△711	△3.7	△711	△3.5	0		
その他の包括利益累計額	1,523	7.9	1,974	9.6	450	その他有価証券評価差額金 為替換算調整勘定	+395 +133
非支配株主持分	47	0.2	56	0.3	9		
<<純資産合計>>	10,010	51.8	10,979	53.7	969		
<<負債 純資産合計>>	19,336	100.0	20,462	100.0	1,126		

第77期 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

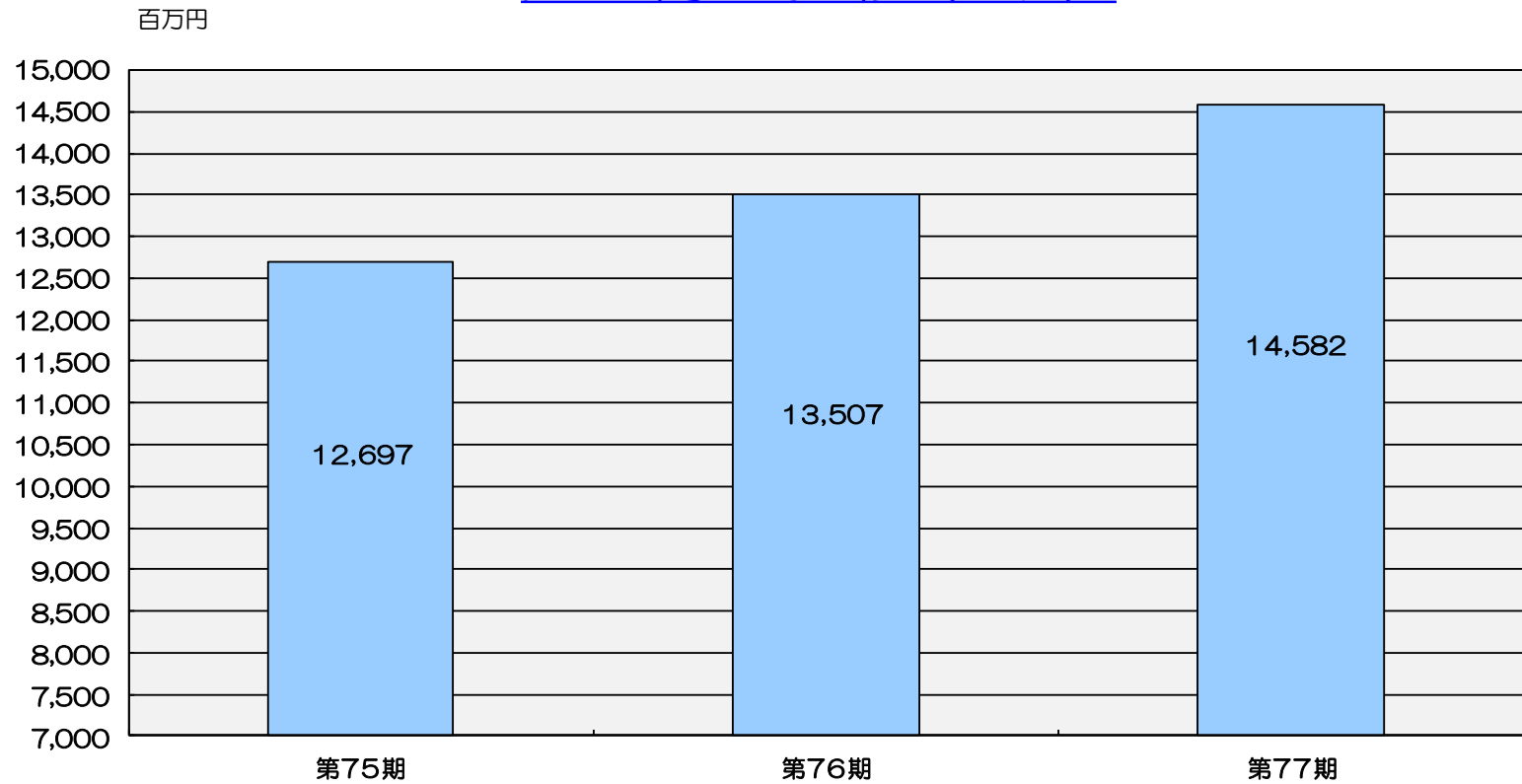
	株 主 資 本					計	そ の 他 包 括 利 益 累 計 額	非 支 配 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 株 己 式					
当期首残高	2,244	2,901	4,005	△ 711	8,439	1,523	47	10,010	
当期変動額									
剰余金の配当			△ 88		△ 88			△ 88	
親会社株主に帰属する 当期純利益			597		597			597	
株主資本以外の項目の 当会計期間中の変動額合計						450	9	459	
当期変動額合計	—	—	509	—	509	450	9	969	
当期末残高	2,244	2,901	4,514	△ 711	8,949	1,974	56	10,979	

第77期 連結キャッシュ・フロー計算書

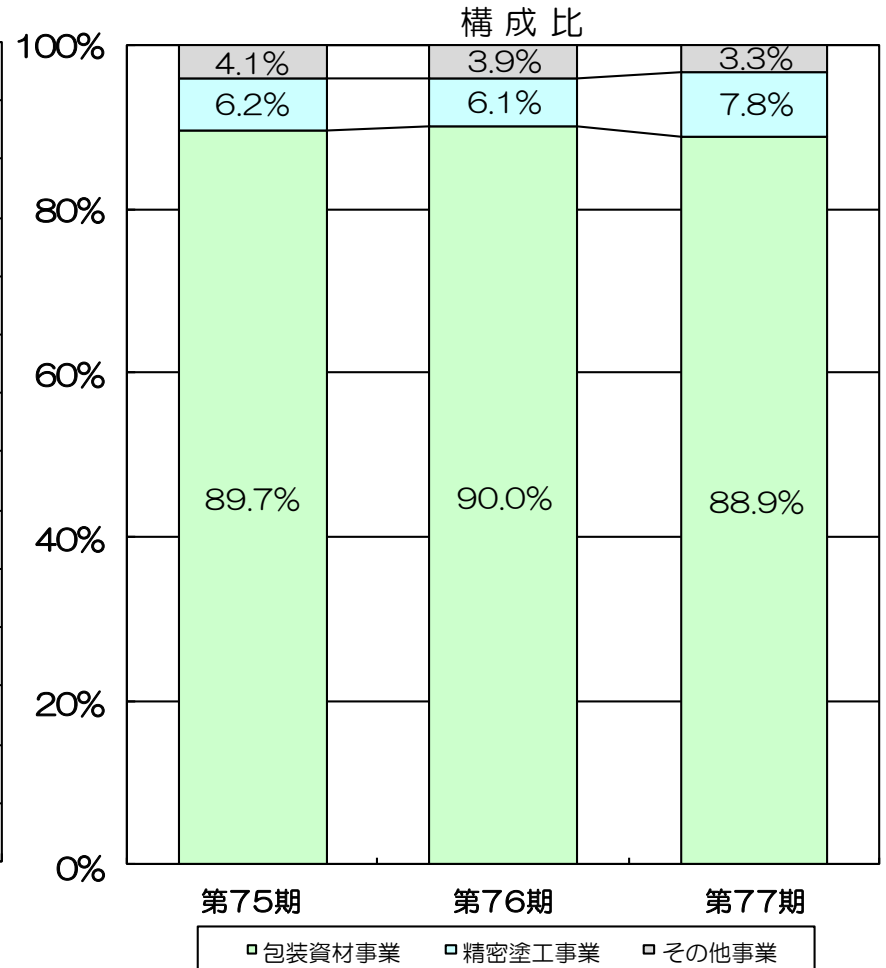
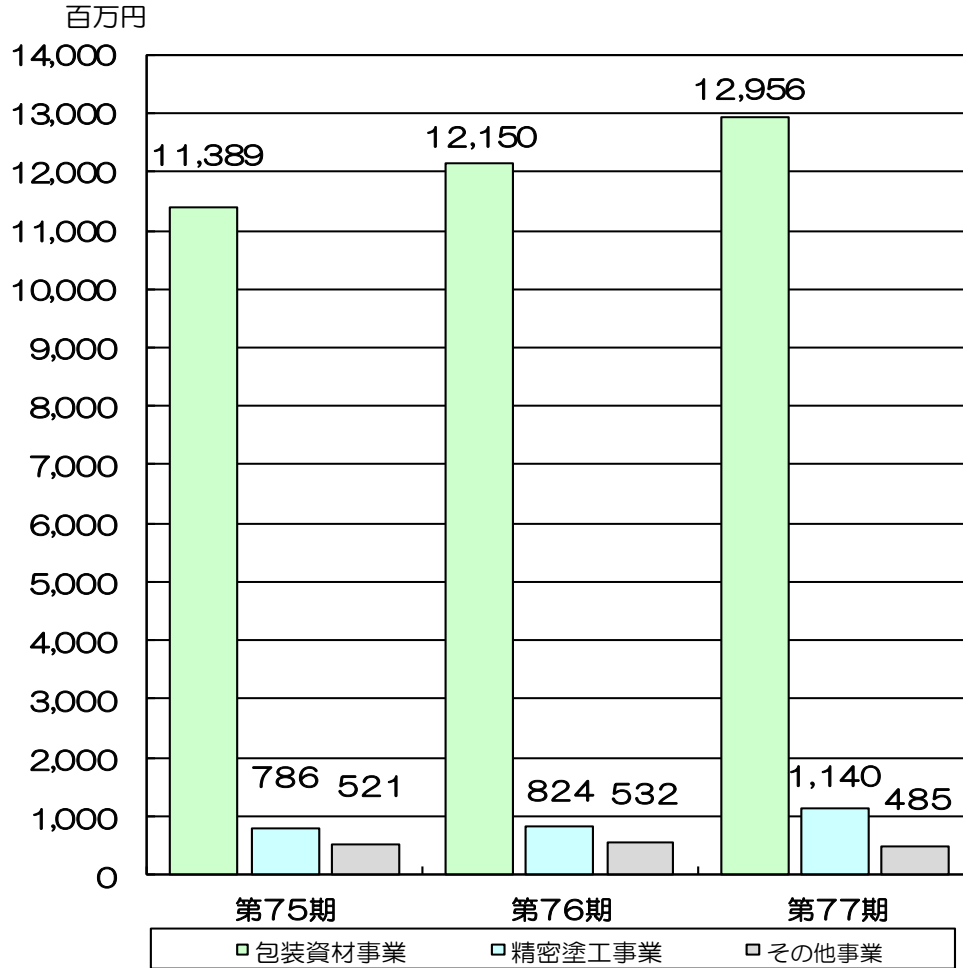
(単位：百万円)

	第76期	第77期	備 考
営業活動によるキャッシュ・フロー	546	1,886	税金等調整前当期純利益 +808 減価償却費 +808
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,750	△630	有形固定資産の取得 △469 無形固定資産の取得 △119
財務活動によるキャッシュ・フロー	894	△423	借入金の純増減 △334 配当金の支払額 △88
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	38	
現金及び現金同等物の増減額	△284	870	
現金及び現金同等物の期首残高	2,081	1,797	
現金及び現金同等物の期末残高	1,797	2,667	

売上高の推移（連結）



事業別売上高（連結）

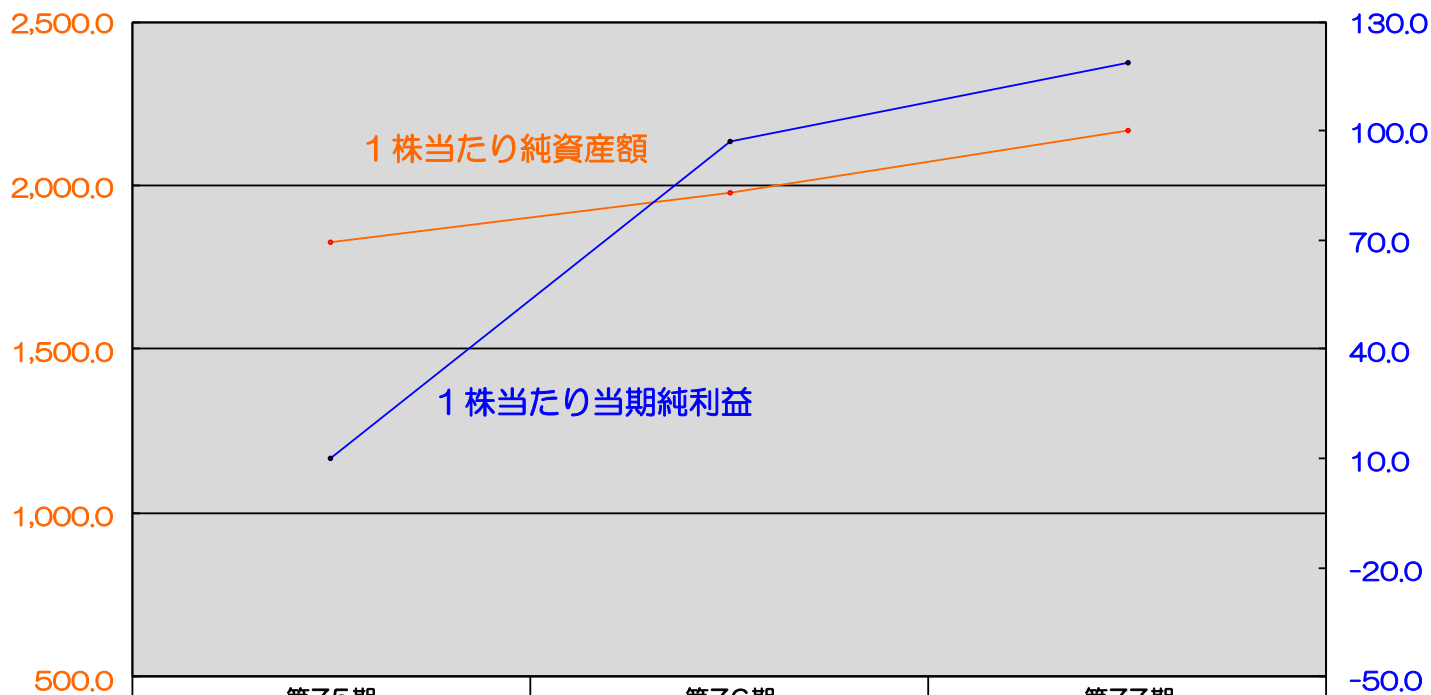


經營指標（連結）

経営指標 I (連結)

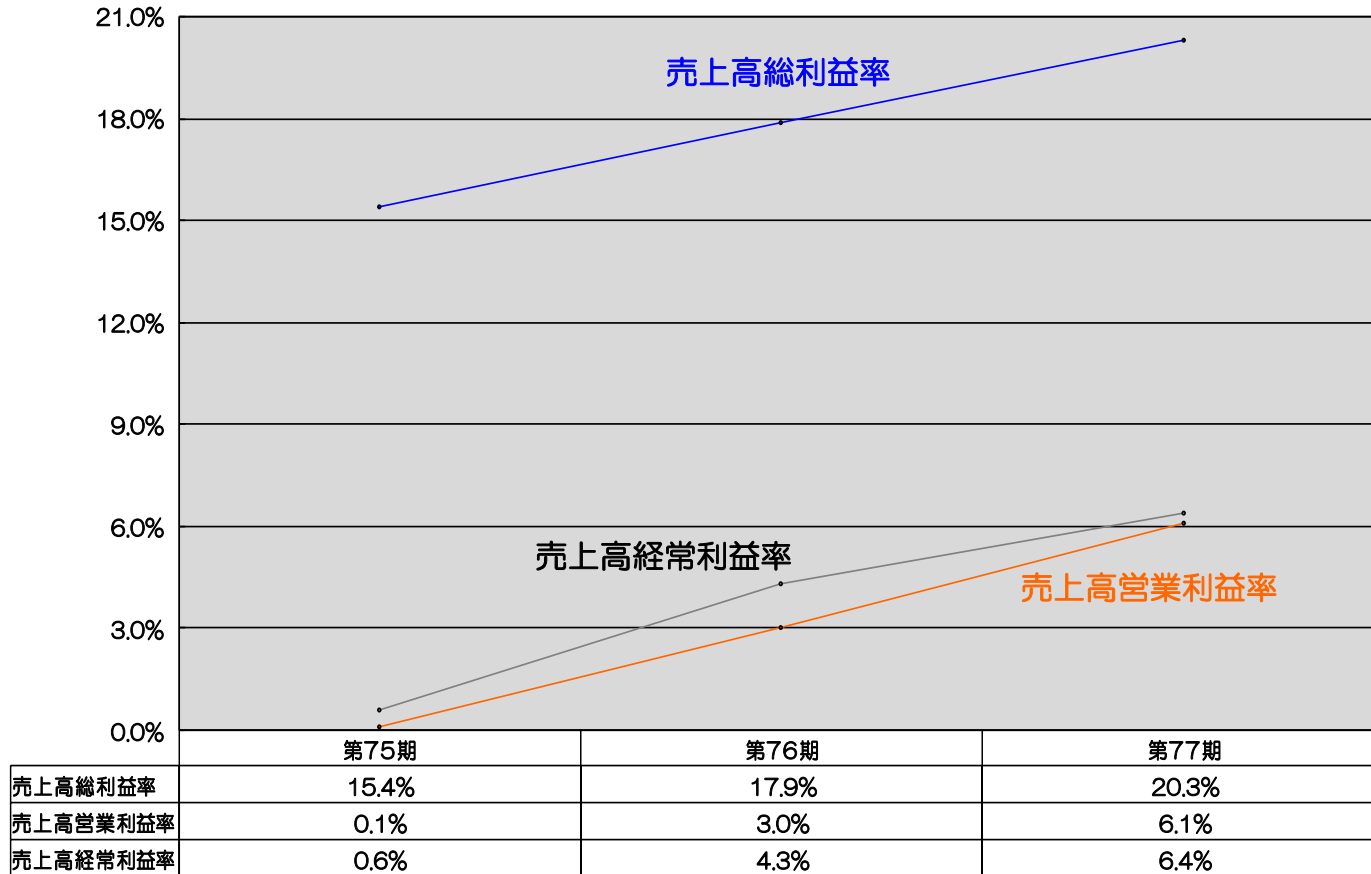
1株当たり純資産額 (円)

1株当たり当期純利益 (円)

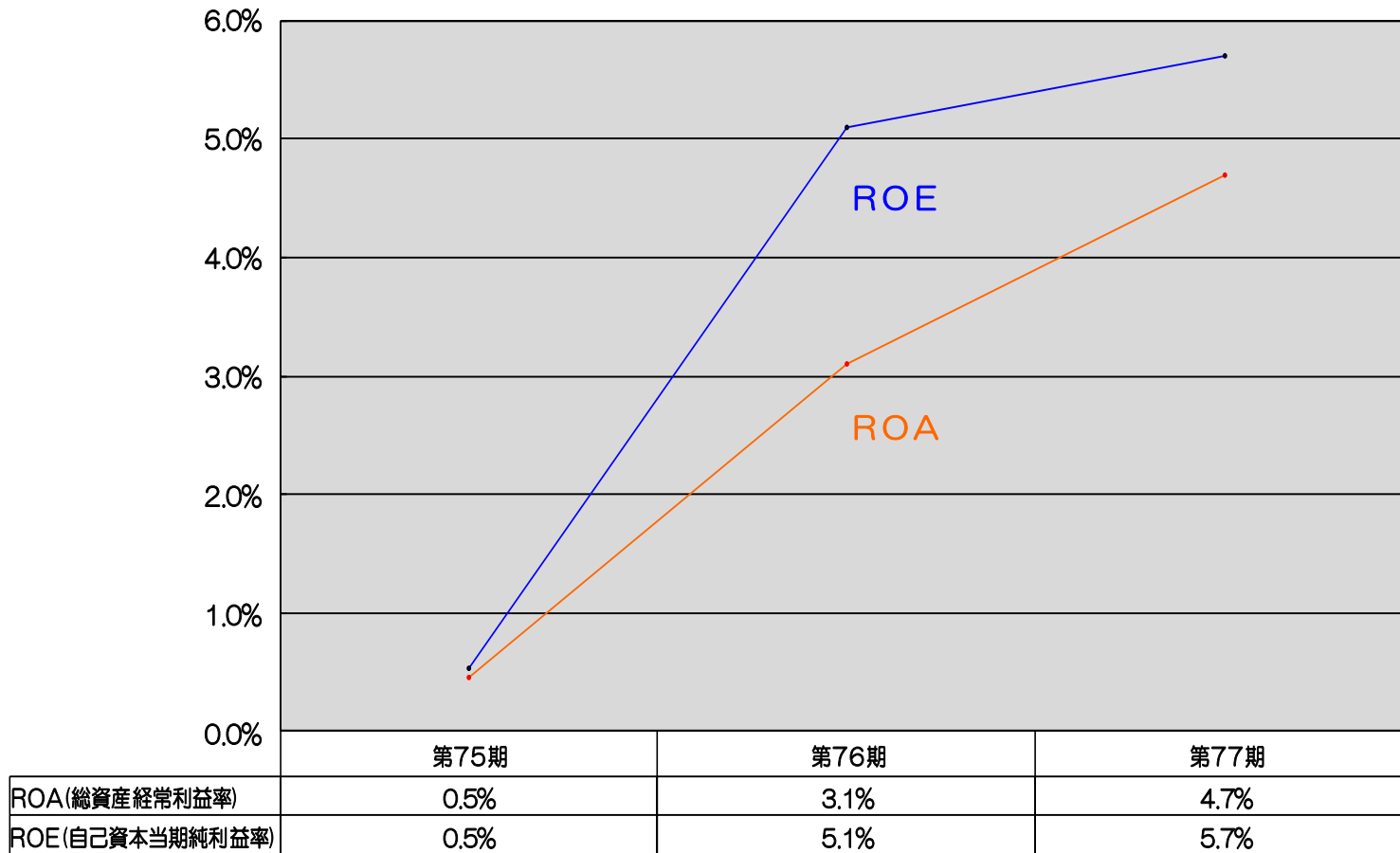


	第75期	第76期	第77期
1株当たり純資産額	1,829.40	1,979.47	2,170.21
1株当たり当期純利益	9.91	96.94	118.74

経営指標Ⅱ（連結）



經營指標Ⅲ (連結)



第78期
(2026年3月期)

連結業績予想

第78期の業績予想について

今後の見通しについては、インバウンド需要のさらなる拡大や全国的な賃金の引き上げ効果に期待がかかるものの、消費者物価の上昇等を受け、個人消費の回復には時間を要するものと見込まれます。また、米国の関税引き上げによる景気減速懸念の高まりや世界各地における地政学リスクの高まりの影響など、厳しい経済状況が続くことが予想されます。

このような状況の中、当社グループは、中長期経営ビジョン『パッケージで人生（LIFE）をもっと明るく、豊かに』を標榜しつつ、新技術開発、新しい事業の柱の構築など将来に向けた諸施策をはじめ、精密塗工事業や海外事業への取り組み強化、環境負荷軽減などESG経営の実践、成長分野への選択と集中、保有資産の戦略的活用、生産体制の再編等による事業基盤の再構築により、持続的成長と一層の企業価値向上に努め、「総合パッケージング企業」への足固めを行ないます。

2026年3月期の連結業績予想につきましては、セグメント別に以下具体策を施すことにより、売上高15,200百万円、営業利益900百万円、経常利益910百万円、親会社株主に帰属する当期純利益640百万円を予想しております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

（包装資材事業）

営業面においては、引き続き環境配慮資材やデザイン・構造設計に係る企画力及び加飾技術力のアピールなど、企画提案型の営業活動を継続的にきめ細かく実施してまいります。また、既存客先との取引深耕とグローバル企業を含む新規客先による売上基盤の拡大、新規分野・新規客先の開拓に積極的に取り組むとともに、人件費・諸資材・エネルギー価格の上昇に加え、物流に関する課題に対してお客さまのご理解をいただきつつ、採算性を一層重視した受注活動に注力してまいります。

ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）及びタイ現地法人（TOIN (THAILAND) CO., LTD.）は、既存客先からの増注を図るとともに、当社グループの認知度アップを図りつつ、グループ内のさらなる連携強化と協力会社ネットワーク拡大を推進し、東南アジア全域の日系企業、外資系企業並びにローカル大手企業のさらなる開拓、増注を図ってまいります。

生産面においては、固定費の増加傾向が続くなか、フロントローディングの推進による生産効率の向上、工場運営の効率化、省人化・省力化・省エネルギー化の推進、品質管理体制の一層の強化、工場のスマートファクトリー化・DX化の推進、BPOによる業務プロセスの改革と品質・生産性向上、外部協力会社のネットワーク拡大等を推進してまいります。

ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）においては、品質保証体制の再構築、新技術の習得、最適な材料調達ルート確立のための諸施策の実行と内部管理体制の改善・強化を継続し、収益基盤の安定化に努めてまいります。

第78期の業績予想について

（精密塗工事業）

販売面では好調な市場での需要を確実に取り込むとともに、将来の需要を早期に捉える活動により売上の拡大と安定化を目指してまいります。

生産面では、生産能力の増強、高度な品質管理体制の強化、技術開発力の強化に継続的に取り組み、収益力の向上に努めてまいります。

（その他事業）

デザインからアッセンブルまでの一貫受注体制をセールスポイントに、医薬部外品・化粧品・食品製造の許認可を活用しつつ、引き続き定期的な商品の受注拡大に注力してまいります。

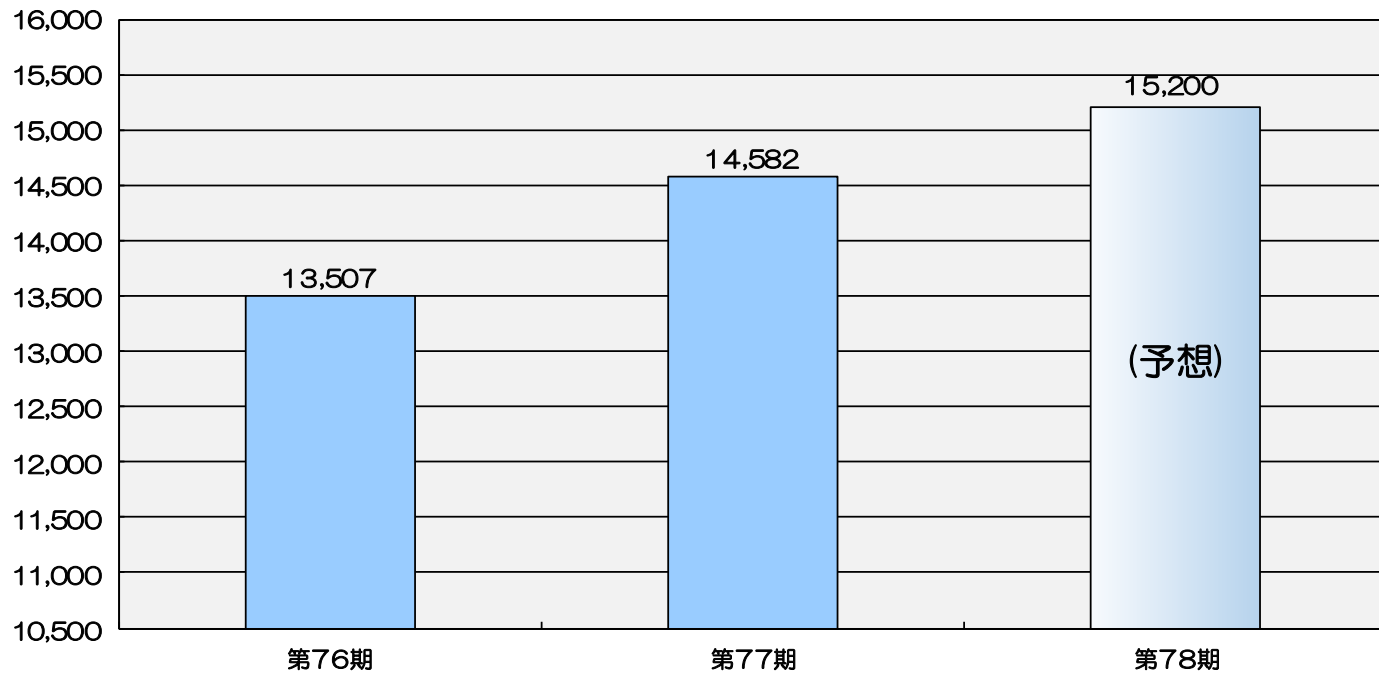
生産面では、フレキシブルな生産体制の編成、新規機械設備導入による省人化・省力化等の推進を図るとともに、お客様のニーズに対応した品質保証体制を一層強化し、コスト競争力の強化に努めてまいります。

第78期の連結業績予想

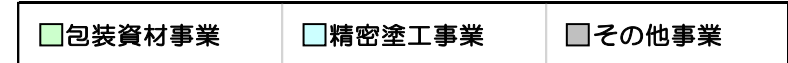
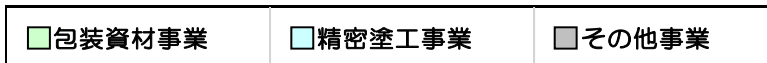
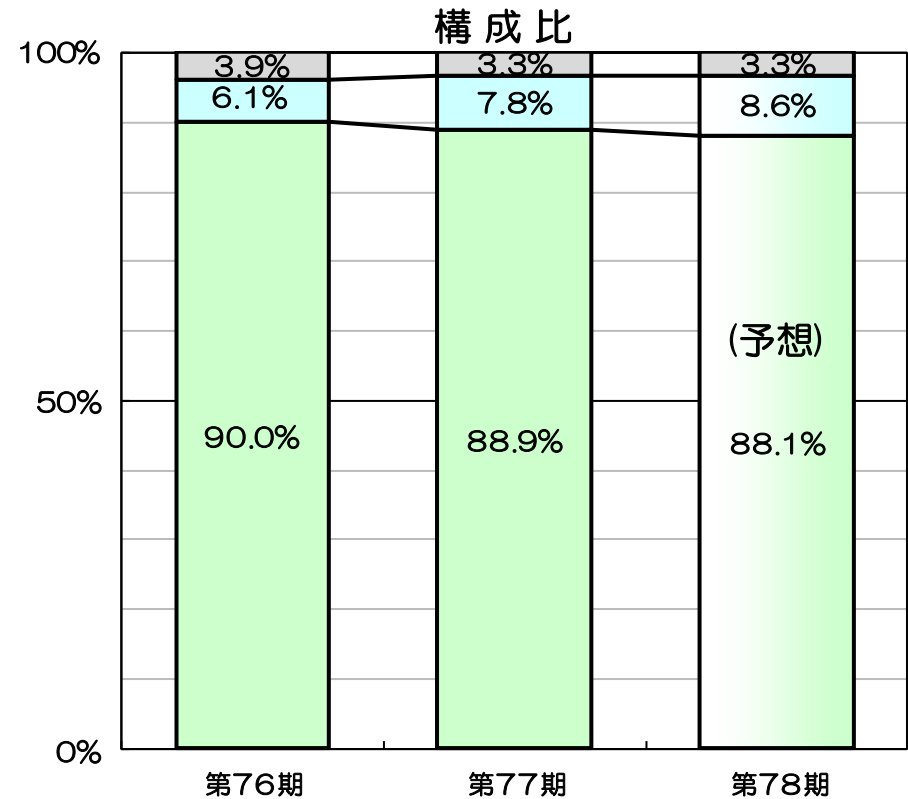
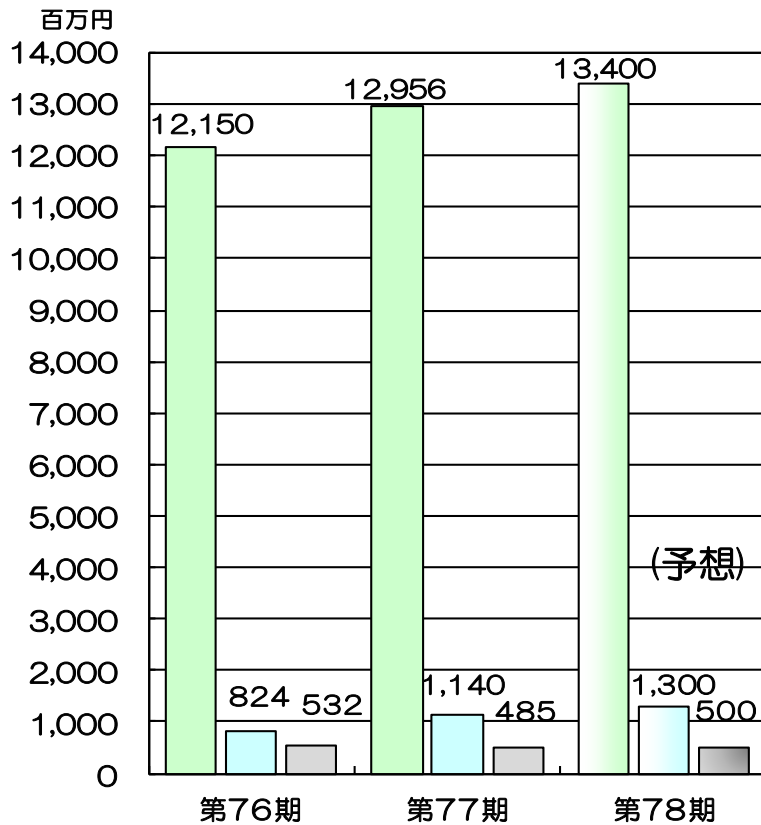
(単位：百万円)

	通 期(予想)	
売 上 高	15,200	% 100.0
営 業 利 益	900	5.9
経 常 利 益	910	6.0
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	640	4.2

通期売上高（連結）



事業別売上高（連結）



経 営 方 針

当社は、経営理念に基づき、お客様の製品づくりや商品販売の一翼を担っているという誇りと責任感を常に持ち、

- ①包装資材事業を中心に、良質な製品を適時に、かつ、十分に供給いたします。
特に、環境や社会に十分に配慮した素材や製品を開発し供給いたします。
- ②長年の知識・経験と技術力をベースとして技術革新に挑み、「よきモノづくり」を極めること、きめ細かいサービス提供に徹することで、お客様のご要望にお応えすることを目指します。
- ③それらを進めることで、株主様、お客様、取引先様、地域社会の皆様、そして、従業員などのすべてのステークホルダーの皆様の多様なニーズに的確にお応えし、豊かな社会への貢献を目指します。

<経営理念>

- お客様に学べ、それが社会への貢献につながる
- 技術革新に挑め、それが会社の発展につながる
- 夢と利益を追え、それが皆の幸福につながる

企業行動規範

- ① 私たちは、社会への奉仕と貢献、社会的信用を重視し、本業による適正な利益を追求します。
- ② 私たちは、未来の真に豊かな社会の実現のため、環境破壊と汚染の防止に積極的に取り組みます。
- ③ 私たちは、社会との良好な連帯に努めるとともに、反社会的な勢力および団体等と一切関係を持ちません。
- ④ 私たちは、法律・規則を遵守し、さらに社会的・道義的責任を自覚し、節度と良識ある行動に努めます。
- ⑤ 私たちは、重要な会社情報を最善の注意をもって取扱い、適時に開示します。また、インサイダー情報を不正に利用した株式の売買等を行いません。
- ⑥ 私たちは、お客さまに感謝の念と誠意をもって接し、お客さまの満足と信頼を大切にします。
- ⑦ 私たちは、時代の変化・要求をとらえた新技術、新製品を開発し、より良い製品とより良いサービスを社会へ提供して行きます。
- ⑧ 私たちは、礼節を重んじ、相手の立場を尊重し、より高い人格の形成と差別のない明るい公平な社会の実現に努めます。
- ⑨ 私たちは、「安全と健康は全てのものに優先する」を基本とし、より安全で快適な職場をつくります。
- ⑩ 私たちは、自らの専門技術と知識を高め、自由活発な意見交換を通じて、創造性豊かな、活力ある企業集団にします。

トーン株式会社

《事業所》

◎東京本社

〒136-0071 東京都江東区亀戸1-4-2
TEL : 03-5627-9111(代) FAX : 03-3638-1134

◎西日本支社

〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満4-8-2
TEL : 06-6136-4351(代) FAX : 06-6136-4363

◎本店・柏工場

〒277-0804 千葉県柏市新十倉二16-1
TEL : 04-7131-2111(代) FAX : 04-7132-6937

◎野田事業所

〒270-0237 千葉県野田市中里231-5
TEL : 04-7120-8805(代) FAX : 04-7120-8017

◎九州事業所

〒839-1333 福岡県うきは市吉井町富永1905-7
TEL : 0943-73-7888(代) FAX : 0943-73-7999

《子会社》

◎TOIN (THAILAND) CO., LTD. (トーンタイランド)
タイ王国バンコク市

◎TOIN VIETNAM CO., LTD. (トーンベトナム)
ベトナム社会主義共和国ビンズン省

《関連会社》

◎Printing Solution Co., Ltd. (P S C社)
タイ王国バンコク市



○ホームページURL <https://www.toin.co.jp>
○本資料に関するお問合せ
経営企画部 TEL : 03-5627-9111 FAX : 03-3638-1131